

九州

九州の景況は、個人消費がやや弱含んだものの、輸出が回復に向けた動き、生産活動が持ち直すなど、**持ち直し**。

個人消費は、飲食料品を中心に大型小売店販売が減少し、乗用車販売も減少するなど、やや弱含み。**住宅建築**は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少するなど、弱含み。**設備投資**は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。**公共工事**は、県が増加したものの、国、独立行政法人等、市町村が減少するなど、足許減少。**輸出**は、プラスチック、船舶が減少したものの、電気機器、自動車が増加するなど、回復に向けた動き。

生産活動は、化学、窯業・土石製品、電子部品・デバイスが減少したものの、鉄鋼、電気機械、情報通信機械が増加するなど、持ち直し。**観光**は、温泉地や観光地の入込客が底堅く推移するなど、上向き。**雇用**は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								